

八月

## 高野長英記念館の風景

### 感謝を伝える日 「八朔」

陰暦八月一日は「八朔」(はっさく) 農家でその年の新しい穀物を取り入れて祝いをする  
〔「新明解国語辞典」(三省堂)より〕収穫に感謝することから 特に8月1日は 日頃お世話  
になっている方々へ感謝する風習があるようです

生命の営みが盛んとなり 突き刺す暑い日差しに動じないソバの花は頼もしく 勇気をいた  
だいています 花々にしがみつくとセミの抜け殻からは 生命の尊さと力強さを感じます



最盛期を迎えるソバの花



グラジオラスとセミの抜け殻



グラジオラス



リアトリス



リアトリスとセミの抜け殻

(撮影 7月19日)

1830年(天保元年)8月7日付けて、長英は高野家の親戚に、帰郷して高野家を継ぐ見込みがないため、代わりに然るべき人を養子に迎えてほしい旨の書状を茂木家、加藤家、後藤家、親戚宛てに送っています。江戸遊学、そして長崎遊学することができたことに対して感謝をしつつ、難病病苦中のため帰郷できないことを理由として認めています。